



	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月19日実施)	総合評価(3月15日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<p>○地域社会と連携しながら、社会性を育む</p> <p>○相模原地区におけるインクルーシブ教育を推進する</p>	<p>①地域と協働して、地域資源を活かした教育活動や交流及び共同学習を推進することで子ども達の社会性の育成をめざす</p> <p>②地域の関係機関との連携を図り、巡回相談やネットワーク会議等への参加をとおして、センター的機能の充実を図る</p>	<p>①交流デイや地域諸学校との連携を進め、新しい生活様式の中での交流や共同学習の場の機会を増やす。</p> <p>②地域諸学校への充実した支援が届けるように、センター的機能についてPRする場を積極的に設けるとともに、地域関係機関と連携しながら情報共有の方法等について検討する。</p>	<p>①地域の学校と連携して交流や共同学習の場を設けることができたか。</p> <p>②センター的機能についてPRする場を設けることができたか。地域関係機関と連携して支援の在り方について検討することができたか。</p>	<p>①地域のまつりの出店や九都県市防災訓練など、高等部における防災学習の取り組みの展示やボランティア活動、地域資源を活用した作業学習に取り組んだ。</p> <p>②巡回相談や相模原市の研修会、また市教委に県の研修会や資料などの案内を行い、支援教育への理解促進を図る情報提供ができた。</p>	<p>①地域活動参加時に学校PRをするものを作成する。地域の清掃活動を3学期より開始したが、次年度は開始時期を早くできるよう工夫する。</p> <p>②巡回相談等で協議検討した内容について市教委とも情報共有を行い、学校コンサルテーションの視点から地域の学校の支援を行えるとうい。</p>	<p>・センター的機能が活用できることを知らない特別支援学級の保護者がまだ多くいる。</p> <p>・インクルーシブ教育について、合理的配慮をしっかりと組み立てていってほしい。</p> <p>・特別支援学級の指導力向上を図ってほしい。</p> <p>・地域の方にもっと学校に来てもらい取組みを見てもらうにはどうしたらよいか考えるとよい。</p> <p>&lt;保護者アンケート&gt; 達成・やや達成 90%</p>	<p>①社会情勢の変化により地域と協働する機会が増えてきた。その際の目的を明確にして取り組んでいくことが大切である。</p> <p>②地域関係機関との連携や地域諸学校への支援を充実させることができた。学校コンサルテーションの取組みやセンター機能のPRについては、今後も継続していく必要がある。</p>	<p>①地域との積極的な協働を、目的意識を明確にしながら広げていくようにしたい。</p> <p>②センター的機能の充実とともに学校コンサルについて推進していくことが大切である。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>○信頼と期待に応える学校づくりを推進する</p> <p>○安心して安全な教育環境の整備に取り組む</p> <p>○現実的な防災体制を整備する</p> <p>○不祥事防止の徹底を図る</p> <p>○教職員の働き方改革を推進する</p>	<p>①学校の様子を保護者に発信することで、コロナ禍で不足していた保護者の信頼と学校教育への理解を進める</p> <p>②社会情勢に応じた安全な教育環境の整備を図る</p> <p>③現実的な防災について、様々な想定に基づいた実践を行う</p> <p>④不祥事防止に向けた取組を継続することで発生を防ぐ</p> <p>⑤会議のもち方や業務の進め方の改善をとおして、教職員の働き方改革を推進する</p>	<p>①年2回の授業参観日を設定し、保護者への発信力を高めるとともに、感想アンケートを取ることで、保護者の声を聴く機会ともする</p> <p>②日常的な点検や修理、改善を行うことで教育環境の整備を行う。</p> <p>③車いす搬送を含めた全校避難訓練を年2回、防災宿泊を年1回実施する。また学校安全計画、危機管理マニュアルを元に実践的な不審者対応等に取り組む。</p> <p>④研修会の充実、日常的な意識付け、同僚性の向上、職員のメンタルヘルス等、多角的な取り組みを維持、継続することで不祥事を防ぐ。</p> <p>⑤行事、会議、業務の見直しや精選を積極的に行うとともに、人的資源の有効活用、業務分担、進め方等の改善を行う。</p>	<p>①授業参観日等を通して、学校での様子を知ってもらうことができたか。</p> <p>②教育環境の整備を進めることができたか。</p> <p>③危機管理マニュアル等を活かした、実践的な防災訓練を実施することができたか。</p> <p>④研修会等取り組みを通して、事故不祥事を起こすことなく学校運営をすることができたか。</p> <p>⑤実感を伴った行事や会議、業務の精選をすることができたか。</p>	<p>①授業参観日は、多くの保護者が参加された。日常でも保護者は授業を見に来てよいことになっているが、一部の保護者のみであった。</p> <p>②危機管理マニュアルをもとに整備をすすめることができた。経年劣化による改修箇所が増えている。</p> <p>③初めて全校同時に避難所体験停電訓練を実施。人工呼吸器の電源確保やトイレ流し訓練、車いす階段搬送、暖房が無い教室体験を行った。防災学習計画通りにすすめることができた。</p> <p>④アンケート実施、話し合いの場を設けたりすることは、日ごろの対応を振り返る機会となり、適切なかわり方を考えるなど、意識の向上につながった。</p> <p>⑤チーム内連携がうまく取れていたことを、他チームでも取り入れたところ、チーム業務への意見交換が自然発生的に活発になった。</p>	<p>①授業参観日は来年度も継続して行う。保護者に授業をいつでも見に来てよいことを保護者会、学校だより、面談等でお知らせする。</p> <p>②教育活動への影響を最小限にできるように、定期点検、計画的な改修工事等を行う。</p> <p>③非常用電源確保の課題あり。例えば大地震で非常用電源設備故障の可能性もある中で、学校施設としてどこまで準備ができるのか、保護者準備の範囲も含めて検討、相談していく必要があると思われる。</p> <p>④今後も定期的に話し合いの場を設け、意識づけにつなげていく。</p> <p>⑤チーム員の運営参加への意識改善の必要がある。例)出勤時、放課後、退勤前には確認するルールで未確認期間が長い場合、また質問に対して回答が無い等がある。いかに時短、業務削減になるかを根気よく説明していく。</p>	<p>・学校の施設設備が整っていると思う。</p>	<p>①社会情勢の変化に伴い授業参観日を設定、開催することができたが、日常的な参観についてはさらに声かけの工夫が必要である。</p> <p>②安全な教育環境の整備に順次取り組むことができたが、経年劣化等により引き続き対応を継続していく必要がある。</p> <p>③計画的に訓練や研修を実施することができた。実施後の反省を生かし、今後も改善しながら継続していくことが大切である。</p> <p>④不祥事防止会議や不祥事防止研修会を継続することで、意識の向上が見られた。互いに意見を言い合える関係性づくり等に今後も継続して取り組んでいくことが肝要である。</p> <p>⑤行事の精選や会議の整理、チーム運営等の工夫に取り組むことができたようになってきたが、今後も工夫を重ねていく必要がある。</p> <p>&lt;保護者アンケート&gt; 達成・やや達成 95%</p>	<p>①日常的に保護者が気兼ねなく学校に来られるような働きかけをしていくことで、様子が見える学校にしていく。</p> <p>②定期点検と緊急度を勘案しながらの修理改善に取り組む。</p> <p>③PDCAサイクルを活用して、より現実的な防災体制を整備していくようにする。</p> <p>④会議、研修の機会を設け、意識の維持、向上とともに同僚性の維持、向上を目指していく。</p> <p>⑤これまでの取組みを共有する、さらに工夫を重ねていくことで働き方改革を進めたい。</p>

